

報 道 資 料

平成30年3月23日

奈良県 県土マネジメント部
地域交通課 交通戦略係
担当：川村、中西（内 4166）
TEL 0742-27-8939（直通）

新しいバスロケーションシステムのサービスが始まります

奈良県（奈良県知事：荒井正吾）と奈良交通株式会社（取締役社長：植田良壽、以下「奈良交通」）は連携・協働し、奈良交通が運行する定期路線バスの全線において新しいバスロケーションシステムを導入します。平成30年3月26日（月）より、まずは奈良市中心部においてサービスの運用を開始します。

記

1. 背景

奈良県においては、平成28年3月に策定した「奈良県公共交通基本計画」において、これまでの取組を更に推進していくものとして「公共交通の利用環境の整備」を位置づけ、「スマートフォンの普及等を踏まえたバスロケーションシステムの整備をはじめとした公共交通に係る情報提供システムの開発の促進」を行うこととしています。

また、20年後に見込まれるリニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置を見据え、「（仮称）奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組んでおり、急増するインバウンド観光需要に対応するため、観光地への移動円滑化など、受入環境の整備を進めることとしています。

これを踏まえ、奈良交通と連携・協働し、県内のバスロケーションシステムの整備に早急に取り組み、地域住民や訪日外国人はじめ旅行者等のバス利用環境の向上を図ることとしたものです。

2. 概要

奈良交通において、奈良県の予算事業「連携協定に基づくバス交通支援事業」（県1／3補助）等を活用し、これまでの無線方式に代わり、GPS方式による新しいバスロケーションシステムを開発し、ソフト、ハード一体でバスロケーションシステムの整備を進めます。

具体的には、奈良交通定期路線バスの全線においてバスの位置情報をスマートフォン（バス検索サイト）で提供するサービスを開始するとともに、バスターミナルや主

要バス停を中心にバス情報表示装置の設置等を進めます。

平成29年度は、奈良市中心部の164系統でサービスの運用を開始するとともに、バス情報表示装置を15箇所を設置します。平成30年度は、奈良交通の定期路線バス全383系統でサービスの運用を開始するとともに、自治体等と連携し、バス情報表示装置の設置等を進めていく予定です。

3. 今後の予定

●バスロケーションシステムサービスの提供

- ・奈良市中心部（※）：平成30年3月26日（月）
※近鉄奈良駅、JR奈良駅に乗り入れる164系統
- ・奈良市中心部以外の地域：平成30年9月（予定）

●バス情報表示装置の設置

- ・奈良交通（※）：平成30年3月26日（月）
※近鉄奈良駅（①・⑧・⑨のりば）、JR奈良駅（②・⑤・⑥のりば）、
東大寺大仏殿・国立博物館前・田中町・内、春日大社表参道・内、
奈良市庁前・東向、宮跡庭園・東向、薬師寺東口・北向、唐招提寺東口・北向、
県庁前・西向の14箇所
- ・東吉野村：平成29年12月（設置済）
ひよしのさとマルシェ

4. その他

平成30年3月26日（月）より新しいバスロケーションシステムのサービスの運用を開始することに伴い、オープニングセレモニーが開催されます（荒井知事出席予定）。本件に関する詳細については、奈良交通にお問い合わせください。

- ・日 時：平成30年3月26日（月）午後1時より
- ・場 所：奈良県庁前
- ・問い合わせ先：奈良交通総務人事部 黒田・竹谷

TEL：0742（20）3117